

都市づくりフォーラム 第17回

都市づくりトピックス

<生き物もすみやすい都市づくり>

春の足音が近づき、眠っていた生き物たちが目覚めようとしています。羽生市にもさまざまな生き物が生息しており、あたたかな日差しを喜んでいることでしょう。しかしながら、昔に比べると野生生物を見かけなくなったという声をよく聞きます。野生生物の減少は、水質汚濁や水路のコンクリート化、緑地等の減少による生息環境の悪化が主な原因です。身近だった生き物が特別な存在になってしまいました。

水辺や緑地は野生生物のみならず、私たちにとっても貴重なものです。コンクリート水路を生き物が棲みやすいように改修したり、ビオトープを整備したりすることが全国各地で行われています。

失った自然環境の回復と残った自然環境の保全を進めることが、豊かな都市を育むのではないかと思います。

ビオトープ...ドイツ語で「生き物のすみ場所」という意味。最近では、いろいろな種類の生き物が、自分の力で生きていくことのできる自然環境を備えた場所をビオトープと呼んでいます。

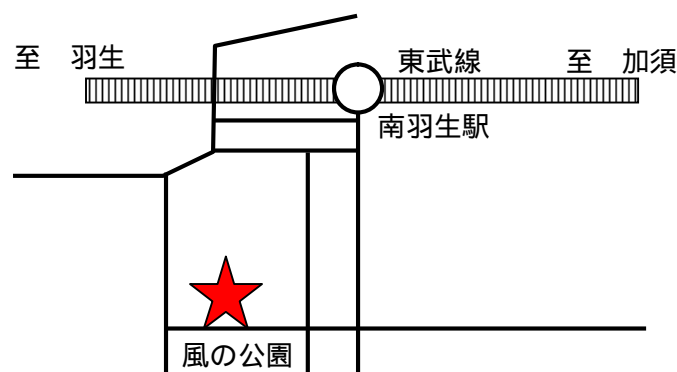
羽生のいいところミーケ

<風の公園>

風の公園は南羽生4丁目にあり、小さな風車がクルクルとまわっています。これには発電機能がついていて、風車の足下の花壇にある小さなライトが点灯します。風車もここで遊んでいる子どもたちも、春のあたたかな風を全身に受けて喜んでいることでしょう。

南羽生にある公園にはそれぞれ特徴があります。区画整理で生まれた新しい町のシンボルにしたい、地域の皆さんに親しまれる公園にしたいという思いでつくったものです。

公園は、憩いの場として、また緊急時の避難場所として欠かせないものです。公園の存在感を高めていくことが重要です。





市民フォーラム

市民の皆さんからのご意見を募集しています。日々の生活の中で感じる都市づくりについての疑問、質問などお気軽にお寄せください。お待ちしております。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は
都市計画課（内線 275）

FAX 561 - 6380

email toshikei@city.hanyu.lg.jp